

株主の皆さまへ



第51期 第2四半期 株主通信

株式会社ユーシン精機

2023年4月1日～2023年9月30日
証券コード 東証スタンダード6482

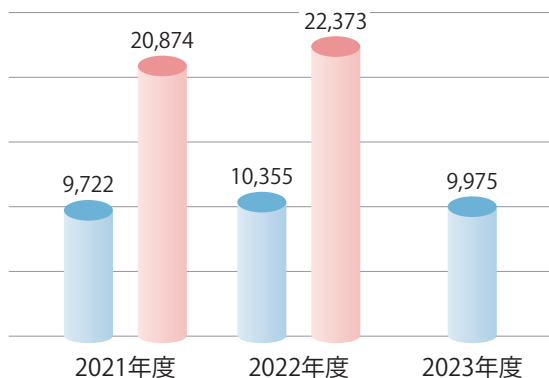
平素は当社の事業運営に、格別のご高配、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。当社第51期第2四半期連結累計期間の概況につきましてご報告申し上げます。

業績ハイライト

(百万円) ■ 第2四半期累計 ■ 通期

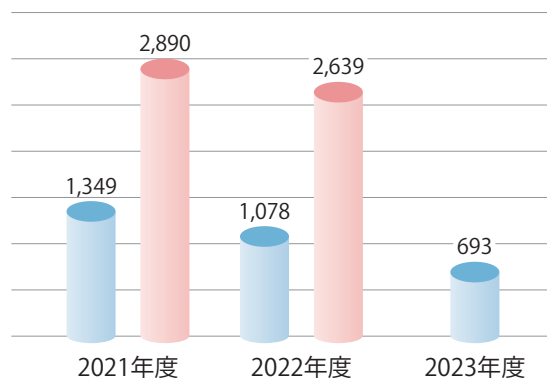
売上高

9,975百万円
(前年同期比 3.7%減)



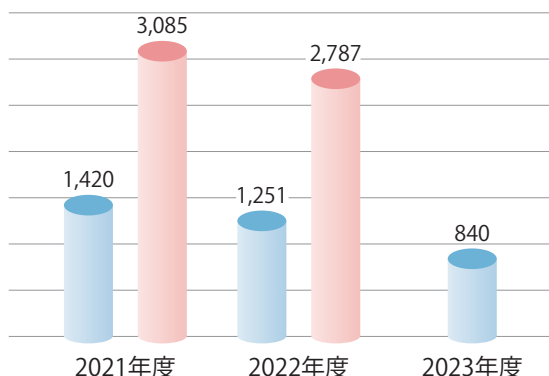
営業利益

693百万円
(前年同期比 35.7%減)



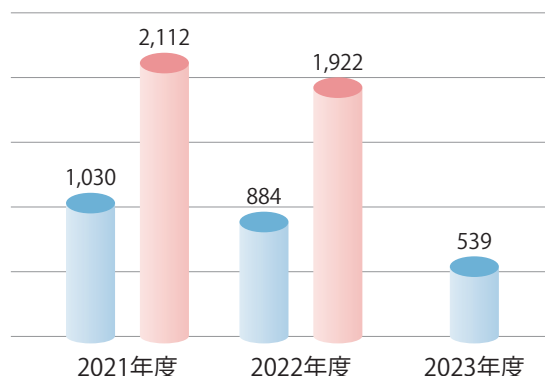
経常利益

840百万円
(前年同期比 32.8%減)



親会社株主に帰属する当期純利益

539百万円
(前年同期比 39.0%減)



当第2四半期の営業の概況

当第2四半期連結会計期間における世界経済につきましては、一部に回復傾向はみられたものの、地政学的リスクによる資源価格の高騰や世界的な金融引き締めによる景気下押しの効果もあり、先行き不透明な状況が継続しております。

このような状況のもと、当社グループは、引き続き世界規模での新規顧客の開拓およびメディカル関連特注機の拡販に取り組んでまいりました。しかしながら、主に日本、中国で取出口ボットの受注が伸び悩み、またメディカル関連特注機につきましても前第2四半期連結会計期間と比較して受注は減少しました。当第2四半期連結会計期間の業績につきましては、前第2四半期連結会計期間と比較して、第1四半期連結会計期間に子会社化したWEMO AUTOMATION ABの影響もあり、欧州においては販売が増加したものの、日本・アジアでの販売が減少しました。その結果、連結売上高は前年同四半期比3.7%減の9,975百万円となりました。利益面につきましては、営業利益は海上輸送運賃の高騰は緩和されてきたものの、連結売上高の減少および原材料価格の高騰に伴う売上総利益率の悪化に加えて人財投資に伴う人件費の増加もあり、前年同四半期比35.7%減の693百万円となりました。経常利益は為替差益の発生はあるものの前年同四半

期比32.8%減の840百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比39.0%減の539百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間において、低全高ハイパフォーマンスパレタイジングロボットの販売を開始しました。

今後もお客様のご要望や課題解決にお応えできる組織体制の充実を図るとともに、「お客様に喜ばれる商品とサービス」を提供し、社会貢献を通じた成長の実現を目指します。



新商品
「低全高ハイパフォーマンスパレタイジングロボット」

YUSHIN レポート2023

当社ではすべてのステークホルダーの皆さまにYUSHINグループについてのご理解を深めていただきたく、財務情報と非財務情報をまとめたYUSHINレポート(統合報告書)を発行しています。

「YUSHINレポート2023」では新たに次の50年に向けた成長ストーリー、人財戦略を担う担当役員インタビュー、社外取締役による今後の課題についての鼎談などを掲載しています。



レポートは左のコードからアクセスいただけます。
是非ご覧ください。



トピックス

▶ ショールーム「IN→POSSIBLE」開設

2023年2月に本社近隣のテクニカルセンター内にショールームを開設いたしました。商品展示を通じてお客様を始めとしたステークホルダーの皆さまに企業姿勢や技術の総合力を体感していただけます。

このショールームにご来場(IN)いただくことで不可能を可能(POSSIBLE)にするという意味を込めてショールームの名前を「IN→POSSIBLE」としております。実際に稼働する商品をご覧いただきながらお客様のご要望に沿った提案をすることが可能となり、大変好評をいただいております。



▶ スウェーデンのWEMO AUTOMATION ABを子会社化

2023年5月30日にWEMO AUTOMATION ABの株式を100%取得し、YUSHINグループの一員として迎え入れました。WEMO社は1987年に設立されたスウェーデンにある取出口ロボットメーカーです。北欧諸国において高い市場シェアと顧客基盤を有し、取出口ロボットに加えて自動化装置やパレタイジングロボットも手掛けています。

WEMO社とユーシン精機の目指す姿は同じ方向を向いており、共に歩みを進めることにより世界中のお客様に「安心」と「進歩」をより高い次元でお届けすることができると思っています。



▶ ユーシン精機の人的資本強化方針

当社は多様な人財の価値観・考え方を活かした組織づくりを通じて、持続的な成長および中長期的な企業価値の向上に取り組んでいます。企業理念の浸透を軸に、多様な人財の採用・育成を進め、従業員一人ひとりが特性や能力を最大限発揮し、生き生きと働き続けられるための環境づくりを目指しています。具体的な方策として右に掲げる「人的資本強化方針」を定めました。将来の飛躍に向けて人財投資・組織づくりを積極的に進めていきます。

お客様の想いに届き、
社会に貢献する商品やサービスを提供する

【人的資本の強化】

- ① コーポレート・アイデンティティ(CI)活動の推進
- ② 理念浸透型の人事制度・人財育成ポリシーの整備
- ③ 人財の多様性の確保、ダイバーシティマネジメント
- ④ キャリアのステージに応じた教育制度の充実
- ⑤ 仕事のやりがい、働きやすさの向上などのための環境づくり

PDCA



施策
強化

会社概要

▶ 会社基本情報

商号 株式会社ユーシン精機
YUSHIN PRECISION EQUIPMENT CO., LTD
代表者 代表取締役社長 小谷 高代
設立 1973年10月
資本金 1,985,666千円
本社所在地 京都市南区久世殿城町555番地
TEL.075-933-9555(代)
連結社員数 787人(2023年9月30日現在)
事業内容 産業用直交型ロボットを中心に工場自動化に
関連する装置・システムの開発、製造、販売。
主要商品 ・プラスチック射出成形品取出口ロボット
・自動ストック装置および省力化自動機器

▶ 役員一覧 (2023年9月30日現在)

代表取締役社長 小谷 高代
取締役副社長 小田 康太
専務取締役 北川 康史
常務取締役 稲野 智宏
取締役 福井 理仁
取締役(社外) 西口 泰夫
取締役(社外) 松久 寛
取締役(社外) 中山 礼子
常勤監査役 野田 勝美
監査役(社外) 鎌倉 寛保
監査役(社外) 野中 徹也

株式情報

▶ 株主メモ

- 証券コード 6482(東証スタンダード)
- 単元株式数 100株
- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 基準日 定時株主総会 3月31日
剰余金の配当 期末3月31日
中間9月30日
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱 (お問い合わせ先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL.0120-094-777(通話料無料)
- 公告方法 電子公告 当社ホームページにて掲載
ホームページ <http://kmasterplus.pronexus.co.jp/main/corp/6/4/6482/index.html>

▶ 株式の状況 (2023年9月30日現在)

発行済株式の総数 35,638,066株
第2四半期末株主数 6,827名

● 株式分割の推移

1996年	5月	1:1.1
1997年	5月	1:1.2
1998年	5月	1:1.2
1998年	11月	1:1.2
1999年	11月	1:1.2
2000年	5月	1:1.1
2001年	5月	1:1.1
2004年	5月	1:1.1
2008年	4月	1:1.1
2018年	4月	1:2

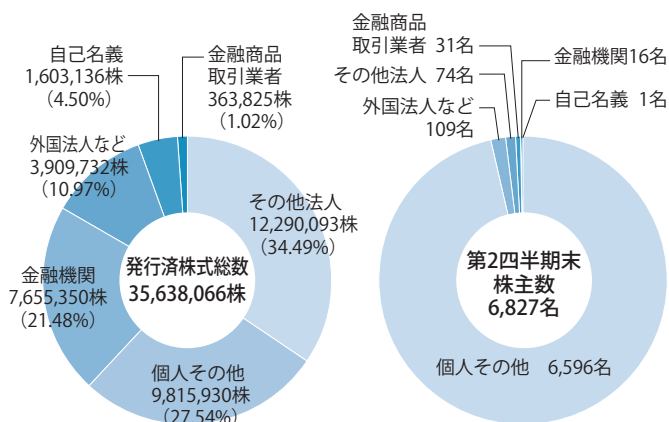
● 配当金*の推移

2015年	3月期	30円
2016年	3月期	36円
2017年	3月期	36円
2018年	3月期	33円
2019年	3月期	17円
2020年	3月期	18円
2021年	3月期	18円
2022年	3月期	19円
2023年	3月期	30円

*2018年4月1日を効力発生日として、1株につき2株の株式分割を実施しました。2018年3月期以前の配当金は、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

▶ 株主構成 (株数別、人数別)

(2023年9月30日現在)



▶ 大株主 (2023年9月30日現在)

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社ユーシンインダストリー	11,992	35.2
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,316	6.8
小谷 高代	1,968	5.8
村田 美樹	1,847	5.4
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口)	1,232	3.6
京都中央信用金庫	1,088	3.2
小谷 真由美	968	2.8
RBC IST 15 PCT NON LENDING ACCOUNT - CLIENT ACCOUNT	866	2.5
株式会社三菱UFJ銀行	849	2.5
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	845	2.5

*当社の自己株式1,603,136株は、上記の表から除いています。



この冊子は、環境に配慮した
ベジタブルインクを
使用しています。